

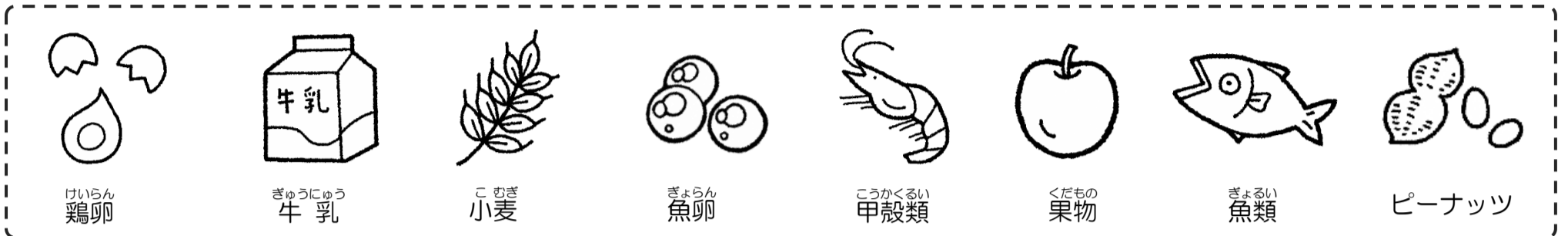
# 1月給食たより

令和3年12月20日  
陸別町給食センター

## 食物アレルギーについて

ある特定の食べ物によって、じんましんや腹痛、おう吐、息苦しさなどのアレルギー症状を起こすことを食物アレルギーといいます。食べるだけでなく、触れたり吸い込むだけでも症状が出る場合があります。

### 食物アレルギーの原因として多い食べ物



### 食物アレルギーの症状

<p><b>皮膚症状</b></p> <p>赤み、じんましん、はれ、かゆみ、湿疹など</p>	<p><b>粘膜症状</b></p> <p>白目の充血・はれ・かゆみ、鼻水、口内のかゆみなど</p>	<p><b>呼吸器症状</b></p> <p>のどの違和感・かゆみ・締めつけられる感など</p>	<p><b>消化器症状</b></p> <p>気持ちが悪くなる、おう吐、腹痛、下痢、血便など</p>
--	--	--	--

**アナフィラキシー**  
複数の症状が同時に急激にあらわれる過敏反応のことをいいます。  
呼吸困難や血圧低下、意識障害を伴うものを特にアナフィラキシーショックといい、命にかかわる危険な状態です。

### アレルギーの血液検査で反応が出て、食べられる場合がある

食物アレルギー検査の一つに、血液検査があります。今まで普通に食べていたものなのに、陽性反応が出ることもあります。この血液検査の結果だけで、確実に症状がでるとは言い切れませんので、今まで食べていて大丈夫であったものは、食べ続けた方がよい場合もあるようです。そのような場合はお医者さんに相談してみてください。

## 1月24日～30日は、「全国学校給食週間」です。

昭和25年度から、冬休みと重ならない1月24日～30日の一週間を、全国学校給食週間とし、学校給食の意義や役割について理解や関心を高めることを目的に、毎年全国各地でさまざまな行事が行われます。

給食週間の1月27日は「鹿みそラーメン」を提供予定です。鶏や豚肉に比べ、鹿肉を提供する学校給食施設は少なく、陸別の特色のある給食の一つだと感じています。学校給食の目的の一つに、「地域の食文化への理解」があり、陸別で鹿肉を食べるようになったルーツについて、まとめました。

### 陸別町の特長からエゾシカの活用背景をみる

陸別は、積雪が少なく、山林が多いことからエゾシカの生育地として適しています。陸別町のエゾシカの生育数については、不明ですが、雪解けの新芽が芽吹く頃から、食害が始まり平成26年度は被害面積が約100ha、被害額約2900万円とされ、被害防止のため、約1000頭が駆除されています。エゾシカの有効活用として、地域の特産品として活用されており、道の駅では、「鹿ジャーキー」「鹿ジンギスカン」「鹿カレー」「鹿ベーコン」等が販売されています。

エゾシカは、鉄分が多く、貧血の予防に優れた食品です。陸別町では、地域の特性上、エゾシカとの共生をする中で、エゾシカを捕獲し、資源の有効活用として、昔から食べ続けられているものです。地域の食文化を守るためにも、まず知ることから始めてみてはいかがでしょうか。

### 史跡ユクエピラチャシ跡との関連(※陸別ふるさと科の資料参考)

陸別町のユクエピラチャシ跡は、国指定の史跡となっており、「ユク・エ・ピラ」は、アイヌ語で「シカ・食べる・崖」という意味があり、「鹿が餌を食べている崖」や「人が鹿を食べる崖」と解釈されるそうです。ユクエピラチャシ跡は、3つの壕があり壕を囲むように、多くのシカの骨やシカの骨で作った道具(骨角器)が見つかっています。このことから、アイヌの人々は、狩りに出てシカを捕獲し、そのシカを食糧とし、皮は衣類に仕立て、骨からは次の狩りのための道具を作り、シカを余すことなく使いきっていたことが分かるそうです。